

聖書

創世記18章1～15節

18:1 【主】はマムレの櫨の木のそばで、アブラハムに現れた。彼は日の暑いころ、天幕の入口にすわっていた。

18:2 彼が目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼は、見るなり、彼らを迎えるために天幕の入口から走って行き、地にひれ伏して礼をした。

18:3 そして言った。「ご主人。お気に召すなら、どうか、あなたのしもべのところを素通りなさらないでください。

18:4 少しばかりの水を持って来させますから、あなたがたの足を洗い、この木の下でお休みください。 18:5 私は少し食べ物を持ってまいります。それで元気を取り戻してください。それから、旅を続けられるように。せっかく、あなたがたのしもべのところをお通りになるのですから。」彼らは答えた。「あなたの言ったとおりにしてください。」 18:6 そこで、アブラハムは天幕のサラのところに急いで戻って、言った。「早く、三セアの上等の小麦粉をこねて、パン菓子を作っておくれ。」

18:7 そしてアブラハムは牛のところに走って行き、柔らかくて、おいしそうな子牛を取り、若い者に渡した。若い者は手早くそれを料理した。

18:8 それからアブラハムは、凝乳と牛乳と、それに、料理した子牛を持って来て、彼らの前に供えた。彼は、木の下で彼らに給仕をしていた。こうして彼らは食べた。

18:9 彼らはアブラハムに尋ねた。「あなたの妻サラはどこにいますか。」それで「天幕の中にいます」と答えた。

18:10 するとひとりが言った。「わたしは来年の今ごろ、必ずあなたのところに戻って来ます。そのとき、あなたの妻サラには、男の子ができています。」

サラはその人のうしろの天幕の入口で、聞いていた。18:11 アブラハムとサラは年を重ねて老人になっており、サラには普通の女にあることがすでに止まっていた。18:12 それでサラは心の中で笑ってこう言った。「老いぼれてしまったこの私に、何の楽しみがあろう。それに主人も年寄りで。」

18:13 そこで、【主】がアブラハムに仰せられた。「サラはなぜ『私はほんとうに子を産めるだろうか。こんなに年をとっているのに』と言って笑うのか。18:14 【主】に不可能なことがあるか。わたしは来年の今ごろ、定めた時に、あなたのところに戻って来る。そのとき、サラには男の子ができています。」18:15 サラは「私は笑いませんでした」と言って打ち消した。恐ろしかったのである。しかし主は仰せられた。「いや、確かにあなたは笑った。」

8月15日
主のみ使いの訪れ
創世記18章1～15節

先週は創世記17章から学びました。
アブラハムが99歳になった時、
主はアブラハムに現れ、
わたしは全能の神、
わたしの前に全き者であれ、
わたしと契約を結ぶ
あなたの子孫はおびただしく増やそう。

アブラハム86歳から99歳までの13年間、
静かに待つ祈りの時間を過ごし、
99歳の時、突然、神様の方から
アブラハムに語りかけられました。
子供が生まれる約束を13年待っている
アブラハムにはっきりと語られました。

16節「彼女によって、あなたに
一人の子を与えよう。」

19節「あなたの妻サラが、あなたに
男の子を生むのだ。あなたはその子を
イサクと名づけなさい。」

21節では「来年の今ごろサラがあなたに
産むイサクと、わたしの契約を立てる。」

13年間信仰を持って祈って
待っていたアブラハムに
神様から現れて、神様から約束を
語られました。

この約束の確かさを信じるために神様は
アブラハムにさらに二つのことをされました。

名前を変えること

アブラム→アブラハム

サライ→サラ

大いなる父→大いなる多くの者の父

私の王女→王女

子供が生まれるにふさわしい

名前に変えることで

子供の出産をより身近に信じる助けを

与えられました。

さらにこの約束、契約を確かなものと
信じるために、体に傷、しるしをつける
割礼を受けることを命じられた。

99歳のアブラハムと家族の男子はその日全
員、割礼を受けました。

アブラハムはその体の傷を見るたびに
神様の約束を思い返し、
信仰を新たにしました。

わたしは全能の神
わたしの前に歩み全き者であれ
わたしとあなたのために契約を立てる
あなたは多くの国民の父となる。
この約束を思い返し
全能の神様を信じました。

パウロはアブラハムのこの時の信仰を

ローマ4:17 このことは、彼が信じた神、すなわち死者を生かし、無いものを有るもののようにお呼びになる方の御前で、そうなのです。4:18 彼は望みえないときに望みを抱いて信じました。それは、「あなたの子孫はこのようになる。」と言われていたとおりに、彼があらゆる国の人々の父となるためでした。

アブラハムがこの確信に生きられるように
神様はアブラハムに現れ、語られ、
割礼を受けさせて
信じるように導かれました。

今日も神様は
みことばを通し、心に宿る聖霊の証印、
毎週の礼拝、洗礼や聖餐式
などを通して私たちの信仰を動揺しないように
導いてくださいます。

それからしばらくしてヘブロン¹の天幕の
入り口に座っているアブラハムに
主は旅人の姿で現れました。

18:1 【主】はマムレの櫛の木のそばで、アブラハムに現れた。彼は日の暑いころ、天幕の入口にすわっていた。

18:2 彼が目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼は、見るなり、彼らを迎えるために天幕の入口から走って行き、地にひれ伏して礼をした。

18章では神様は旅人の姿で
アブラハムに現れました。
アブラハムにはすぐに
主の使いと分かりました。

ヘブル13:1

兄弟愛をいつも持っていなさい。

13:2 旅人をもてなすことを忘れてはいけません。こうして、ある人々は御使いたちを、それとは知らずにもてなしました。

神様は人の姿、旅人の姿で
来てくださる時があります。

ヨセフ、マリヤ、胎の中のイエス様はナザレからベ
ツレヘムへ旅をしていました。

ベツレヘムの人々は胎のイエス様、イエス様を支え
ているヨセフ、マリヤを受け入れていません。

この時のアブラハムは
日の暑い時にアブラハムの天幕の
近くに来た3人の旅人は
主の使いであることが分かった。

即座にひれ伏して、お泊り下さいと懇願してお
迎いの用意をした。

アブラハムはさっそく
足を洗う水、休息する木陰、
食べ物の準備をした。

マタイ25:37 すると、その正しい人たちは、答えて言います。『主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹なのを見て、食べる物を差し上げ、渴いておられるのを見て、飲ませてあげましたか。25:38 いつ、あなたが旅をしておられるときに、泊まらせてあげ、裸なのを見て、着る物を差し上げましたか。』

25:39 また、いつ、私たちは、あなたのご病気やあなたが牢におられるのを見て、おたずねしましたか。』25:40 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』

3セアの上等の小麦(23リットル)

やわらかくて美味しそうな子牛

凝乳とミルク

アブラハムは最高のおもてなしをしました。

み使いはアブラハムに語りました。

18:10 するとひとりが言った。「わたしは来年の今ごろ、必ずあなたのところに戻って来ます。そのとき、あなたの妻サラには、男の子ができています。」
サラはその人のうしろの天幕の入口で、聞いていた。

17章で主はアブラハムに語ってくださった。

全能の神、

全き者であれ、契約を結ぶ

あなたの子孫はおびただしくなる、

あなたの妻サラから子が生まれる

この約束が確かであることを

さらに確信させるために

主はアブラハムに旅人の姿を取って現れ、

語って下さり、アブラハムの信仰を確かなものに

されました。

神様は信じられない私たち、
疑い深い私たち、
あきらめてしまう私たちが
信じられるように何度も語りかけ、
いろんな方法で働いてくださいます。

マリヤに天使ガブリエルが現れました。

ルカ1:30

「こわがることはない。マリヤ。あなたは神から恵みを受けたのです。 1:31 ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。 1:32 その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。 1:33 彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。」

1:34 そこで、マリヤは御使いに言った。「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知らないのに。」

1:35 御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。」

1:36 ご覧なさい。あなたの親類のエリサベツも、あの年になって男の子を宿しています。不妊の女といわれていた人なのに、今はもう六か月です。」

1:37 神にとって不可能なことは一つもありません。」 1:38 マリヤは言った。「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。」こうして御使いは彼女から去って行った。

マリヤも天使ガブリエルのことばを聞いてすぐに信じたのではない。

どうしてそんなことが起こりましょう、わたしはまだ男の人を知らないのに。

天使は理性、常識に生きるマリヤを知って
それでも理性を超えて「神にとって不可能なことは一つもない」と信仰に生きるように励まし、マリヤは私は主のはしためです。主のお言葉がこの身になりますようにと信仰の告白をしています。

サラも常識、理性で生きています。

18:11 アブラハムとサラは年を重ねて老人になっており、サラには普通の女にあることがすでに止まっていた。

18:12 それでサラは心の中で笑ってこう言った。「老いぼれてしまったこの私に、何の楽しみがあらう。それに主人も年寄りで。」

こんな信じられない私たちに信じられるように主
は働き語ってくださいます。

18:14 【主】に不可能なことがあるか。わたしは
来年の今ごろ、定めた時に、あなたのところに
戻って来る。そのとき、サラには男の子ができて
いる。」

信じられない私たちが信じられるように、
理性、常識、今までの経験、体験を基礎に生
きている私たちに神様の力が信じられるように働
いて下さいます。

アブラハムという新しい名前が与えられました。
古い自分は過ぎ去って新しくなりました。私たち
もイエス様を信じて新しくなったのです。古い自
分を縛っていた無力感や劣等感、常識から解
放されて主を信じ、主に用いられる器になりま
しょう。

イエス様の復活を信じられなかったトマスに
イエス様は現れ、語られ、
手の傷、脇の傷に触れなさい、
信じない者にならないで信じる者になりなさいと
信じる機会をお与えになりました。

4:19 アブラハムは、およそ百歳になって、自分のからだが生んだことも同然であることと、サラの胎の死んでいることを認めても、その信仰は弱りませんでした。4:20 彼は、不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信仰がますます強くなって、神に栄光を帰し、4:21 神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じました。

私たちはこの地上で理性、常識、経験をもとにして生きています。人間的な弱さや足りなさ、罪や不信仰、劣等感などが私たちを縛っています。

しかし私たちは信仰によって
神の子とされました。

この地上にいながら神の国に国籍を持ち、永遠の命をすでにいただいて
神の国を生きています。

主は必要な時には私たちに力を与えてくださいます。

私たちに使命や行くべき道を示してくださる時、必要な力を与えてくださいます。

私たちを用いるために必要な賜物も与えてくださることを確信して歩みましょう。

豊かに満たしてくださる主を信じてこの一週間も御手に導かれて歩みましょう。

祈り

